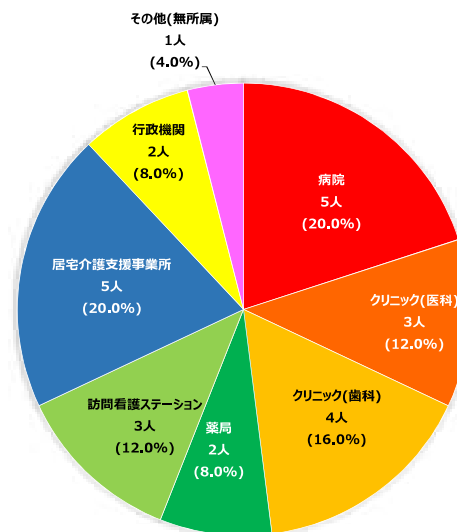


令和8年2月17日(火) 開催

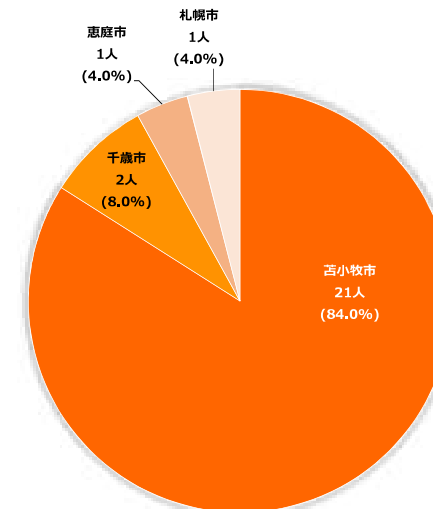
第13回 在宅あるある会 アンケート結果

参加者 50人
回答者 25人
回答率 50.0%

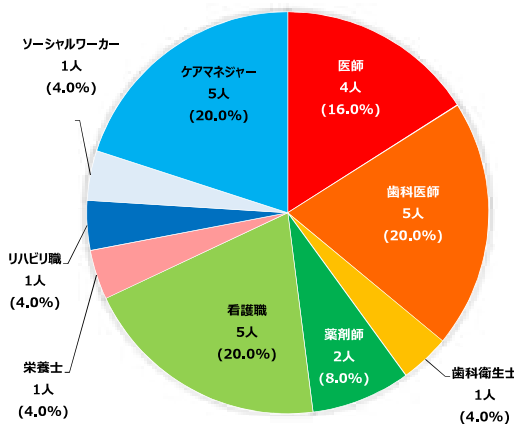
問1 該当する所属機関を1つだけお選び下さい。



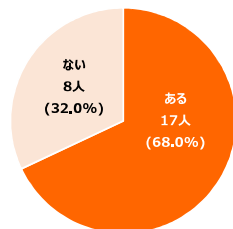
問2 所属機関の地域を教えてください。



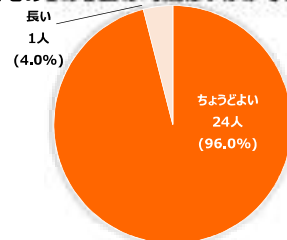
問3 該当する職種を1つだけお選び下さい。



問4 この一年間で在宅医療にかかわったことがありますか。
(依頼や退院時カンファレンスへの参加を含む。)



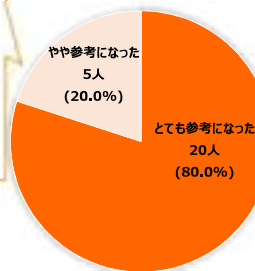
問5 在宅あるある会の時間はいかがでしたか。



問6 講演『在宅歯科医療における歯科医師の機能と役割～多職種連携の中で、歯科は何を担うのか～』は参考になりましたか。

問7 問6の回答を選択した理由について具体的に教えてください。

- 苫小牧市内で在宅歯科医療の現状を理解することができました。
- 連携の必要性を改めて確認する事が出来た
- 訪問歯科のニーズを知れた。
- 訪問歯科の依頼に困ったことがなかったので改めて私は幸運だったと感じました。

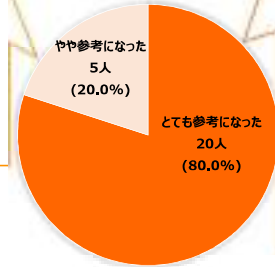


- どういう時に歯科診療の依頼を考えたら良いのか、迷うことがこれまでも多かったのですが、そのヒントをいただきました。
- 歯科の先生側の視点を教えていただける機会はなかなかないので、興味があり、学びになりました。また、歯科受診の目安も、具体的にイメージのできる状態をご教示して下さったので明日からの看護に活かしていきます。
- 歯科と連携が回りかかったので現状を知れてよかったです
- 訪問診療の現状やどこまでできるかが理解できたため
- 歯科医のロジック、経験、コンテキスト
- 訪問診療のニーズが多くあり、うまく利用していく必要を感じた。
- 訪問歯科診療はニーズがあるのに何故増えないのかや訪問歯科診療の必要性がわかった
- 苫小牧市の現状。院長1人のみの歯科などでは実施するには難しい実態であることを理解しました。オーラルケアの必要性を改めて感じました。高齢以前の段階から学ぶことが必要と思います。
- 在宅の分野で歯のことは全く意識になかったが、とても重要なのが分かった
- 歯科の必要性、重要性を再確認できました。
- いかに歯、義歯が大切な事がわかった
- 誤嚥性肺炎の予防、生命維持ができるための食事が取れやすいように観察、診察
- 口腔内の環境を維持する事が、食事形態や嚥下機能を保って行けると思いました。
- 身体フレイルとオーラルフレイルを俯瞰的にみられている点。

問8 実践報告『苫小牧における訪問歯科診療の現状』は参考になりましたか。

問9 問8の回答を選択した理由について具体的に教えてください。

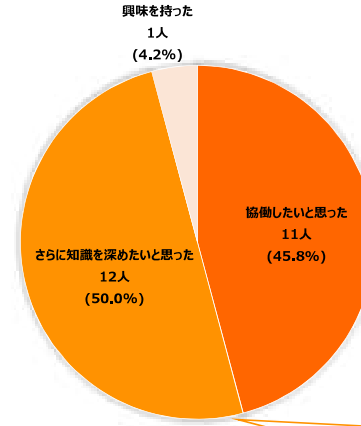
- ・ 義歯を作るにあたり認知面での低下や姿勢保持困難な方への治療をしていくことの難しさを改めて知る事ができました。
- ・ 訪問歯科診療の実情を理解できた。
- ・ 実例を見ることができたこと
- ・ 在宅向けではなかったかなと思う



- ・ 訪問すると生活環境がわかり、部屋の状態から口腔内環境が悪いと思われる方が沢山います。歯科訪問のハードルが歯科医師体制だけと思っていましたが、器具の搬入、口を空けたままの体勢を保つこと、椅子の問題など、他の要因もあることがわかりました。訪問時、家の間取りなどを含め歯科医師が入れるかを考えるようになりました。
- ・ 在宅高齢者への歯科診療の厳しさを具体的に紹介していただき、理解が深まった
- ・ 治療内容の実際を学びました。必要性の一言で負担や訪問歯科の先生の努力が求められ、大変さを感じました。
- ・ 多職種に向けてわかりやすい表現で実際を伝えることはとても大切で有難いことだと感じました
- ・ 実際の現場の様子を見る機会が少ないので、写真で実例を見せてもらい、イメージがつかえました。
- ・ 器材の巨大さ、実地の大変さ
- ・ 訪問歯科の実際を知ることができて良かったです。現在、訪問依頼したい方がいて前向きに検討できると思います。あとは、歯科で受け入れ可能な施設が増えることを願います。
- ・ あまり聞く機会のない実際の訪問歯科診療についてお聞きして今後の仕事に活かれます
- ・ 自宅で訪問歯科を依頼する際の参考になりました。
- ・ 以前から訪問歯科利用専門ダイヤルに電話してから来てくれる歯科を割り当ててましたが、直接相談しても良いと分かりました
- ・ 歯科衛生士の方も訪問していただけることが分かりました。

問10 今回の在宅あるある会に参加し、在宅医療における歯科医師との協働についてどう思われましたか。

問11 問10で協働したいと思ったと回答した方にお伺いします。具体的にどのように協働していきたいと思われましたか。



- ・ 歯科の先生が生活のことを知りたいと思っていることを初めて知りました。今後、依頼する時はぜひ情報共有したいと思いました。
- ・ 依頼時に気を付けることや連携の必要性がわかり実践したい
- ・ 歯科医師に直接というよりは、訪問後医師とケアマネさん宛に毎回訪問報告書を送付しています。口腔内環境の悪化が明らかな患者さんの情報を共有していきたいです。
- ・ 訪問後の診療内容が文書でくため家族や職員の報告よりわかりやすいです。
- ・ 対象となるご利用者様がいた時に、ご相談させていただきたいと思いました。
- ・ 実際に依頼していきたいと思えます。
- ・ 高齢者の口腔内の環境を維持する事が、健康状態を維持する事に繋がると感じました。

- ・ 利用者様と歯科医療側の信頼関係の構築に協働したい
- ・ 具体的に利用者様に対してささいな口腔ケアを開始していくにあたり施設スタッフや訪問介護、訪問看護等、日々利用者様に関わる機会が多い職種へわかる表やチェックリストを明確にいただけると共通ケアがしやすいのではないかと思います。

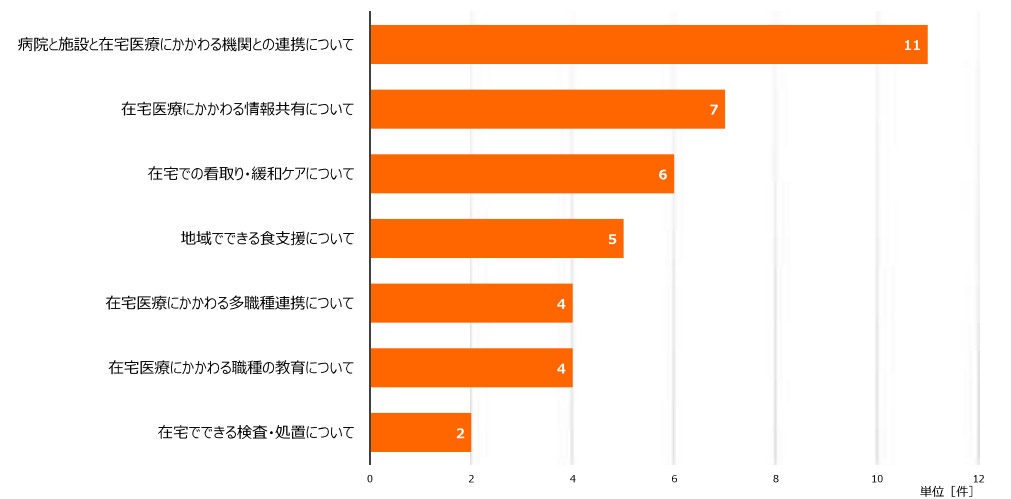
問12-1 今後、在宅医療における歯科医師にかかわってほしいこと(かかわりたいこと)を教えてください。

- ・ 患者にとっては医師の言葉がより響くところがあると思います。現在の高齢者はまさに歯科医療が「支える」「管理する」認識は少ないと思う。また、費用や負担にもシビアな感覚の方が多いと思いますので、そういうところから関わりをしていただけるとスムーズなかと感じます。
- ・ 問11と同様（具体的に利用者様に対してささいな口腔ケアを開始していくにあたり施設スタッフや訪問介護、訪問看護等、日々利用者様に関わる機会が多い職種へわかる表やチェックリストを明確にいただけると共通ケアがしやすいのではないかと思います。）
- ・ 利用者様の環境を配慮して診療方針を検討していただきたい
- ・ 食事量の低下、体重減少の患者様の早期の介入依頼
- ・ 定期的に訪問する歯科さんがいますが、虫歯や入れ歯の作成以外に口腔ケアも定期的に診ていく大きさを共感しました
- ・ 訪問歯科診療ができる歯科診療所が増えてくれると良いと思います。
- ・ 必要な方に必要な医療が届く地域作りを一緒にしていきたいです。
- ・ 定期的に検診を受けられる様なシステムがあると、予防できて良いと思いました。

問12-2 歯科医師の方にお伺いします。在宅医療において多職種にかかわってほしいことを教えてください。

- ・ 患者さんのキャラクターや、ご家族との関係性など、その家族との関わり合い方や注意点などの共有がしたいです。また、医療情報の共有もすぐリアルタイムでなくてもいいのでほしいと感じています。
- ・ 口腔衛生作業

問13 今後、開催してほしいテーマ研修はありますか。 ※複数回答可



問14 今後、在宅あるある会で取り上げて欲しい内容があればご記入ください。

- 安心して在宅生活が続けられる様、連携や学習など進めて欲しいです。
- 現場の介護士さんから各職種に対する忌憚の無いご意見や要望をお聞きたいです。
- 在宅看取り、緩和ケアの現状や自宅で最期までみていくことができるための組織作りに必要なことを知りたいです。それに伴い、ACPをどの段階から普及活動をすすめていく必要があるのか等を知ってみたいです。
- 病院相談員との連携

問15 その他、在宅あるある会についてのご意見ご質問があればご記入ください。

- 私は歯科医師で訪問歯科診療を実際に行っておりますが、病院に入院されている方からの要望もあります。夜間帯に訪問歯科診療ができるような風土ができれば嬉しいです。